

## 植調協会だより

### ◎ 平成16年度事業及び会計の監査

平成17年5月13日(金)、当協会監事による監査を受け、適正との結果を得る。

### ◎ 第41回評議員会開催

平成17年5月24日(火)、植調会館会議室において開催され、次の議案について承認を得た。

1. 平成16年度更正予算
2. 平成16年度事業報告及び収支決算
3. 平成17年度事業計画及び収支予算
4. 関東支部新設
5. 研究所敷地の購入
6. 役員の選任

退任理事 木村史雄, 武政邦夫, 多田正世,  
福林憲二郎, 三浦政義

新任理事 岡林哲也, 鈴木信毅, 高橋 毅,  
岡本敬彦, 小高根利明

### ◎ 第85回理事会開催

平成17年5月24日(火)、植調会館会議室において開催され、次の議案につき承認を得た。

1. 平成16年度事業報告及び収支決算
2. 評議員の選任

退任評議員 二口欣也, 安田 誠

新任評議員 大伴秀郎, 池田昌弘

### ◎ 人事異動

平成17年5月31日付

退職 技術顧問 小澤啓男

## 編集後記

今年の6月初旬にイタリアのミラノ、モナコ、フランスのカンヌ、パリと旅をした。観光地を訪ねる途中で、空港、駅前広場、公園、庭、道端などに生育する雑草をほんの僅かの時間内で観察した。以下は見た順に記録したものである。キレハイヌガラシ、ビロードモウズイカ、ブタナ、アメリカイヌホオズキ、シロツメクサ、ヘラオオバコ、アカツメクサ、ノボロギク、ノラニンジン、キクニガナ、ヨツバハコベ、オッタチカタバミ、オニノゲシ、ツタバウンラン、ギョウギシバ、ムギクサ、オニウシノケグサ、カラスムギ、ハキダメギク、ヒメジョオン、ナガバギシギシ、ヒナゲシ、トゲチシャ、オシロイバナ、ゼニアオイ、ハイミチヤナギ、ホコガタアカザ、ダルマギク、ペラペラヨメナこれらは日本では帰化植物として扱われている植物。イヌビユ、クワクサ、シロザ、スベリヒユ、ノゲシ、カタバミ、アキノノゲシ、トウダイグサ、ヨモギ、ヨシ、ダンチクこれらは日本在来種か共通種。この他日本では見たことがない種不明の草が4種類。このうちの一つに触って見たら強い痛みを感じた。イラクサの仲間がこの痛みは30分も続いた。こうして見ると日本でも普通に見られるものがヨーロッパでも普通に見られ、在来種と外来種が共生していることが理解できた。植物には国境がないことがしみじみと実感できた旅であった。

⑦

財団法人 日本植物調節剤研究協会  
東京都台東区台東1丁目26番6号  
電話 (03)3832-4188 (代)  
FAX (03)3833-1807

編集人 日本植物調節剤研究協会 会長 小林 仁  
発行人 植調編集印刷事務所 広田 伸七

発行所 東京都台東区台東1-26-6 全国農村教育協会  
植調編集印刷事務所  
電話 (03)3833-1821 (代)  
FAX (03)3833-1665  
E-mail: hon@zennokyo.co.jp

平成17年6月発行 定価525円(本体500円+消費税25円)

植調第39巻第3号

(送料 270円)

印刷所 新成印刷(有)